

岩手県職員採用 I 種試験【一般行政以外の職種】 論文試験課題（過去 5 年間）

令和 5 年度	<p>岩手県の人口は、出生数の減少や若者を中心とした転出などにより減少が続いています。</p> <p>そこで、あなたの考える本県の人口減少に関する課題を挙げ、その課題を解決するために県として必要な取組は何か、具体的に論じなさい。</p>
令和 4 年度	<p>新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより、これまで当たり前とされてきた社会や考え方が一変しています。</p> <p>そこで、あなたの考える課題を 1 つ挙げ、その課題を解決するために行政として必要な取組は何か、具体的に論じなさい。</p>
令和 3 年度	<p>岩手県が特に解決していかなければならないとあなたが考える課題を挙げ、その課題を解決するために行政として必要な取組は何か、具体的に論じなさい。</p>
令和 2 年度	<p>人口の減少は、県内の各地域における様々な需要の減少をもたらし、地域経済をはじめ、地域の社会システムに様々な影響を与えることが指摘されています。</p> <p>そこで、岩手県の現状における課題を 1 つ挙げ、その課題の 10 年後における望ましい姿を述べるとともに、そのために必要な取組について、受験する職種の専門分野の視点から具体的に論じなさい。</p>
令和 元 年度	<p>本県では、「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」を基本目標に、今年度から 10 年間で計画期間とする「いわて県民計画（2019～2028）」を策定し、岩手の未来のあるべき姿を実現するための施策を展開しています。</p> <p>そこで、あなたが受験する専門分野における現在の県政課題を 1 つ挙げ、その課題の 10 年後における望ましい姿を述べるとともに、そのために必要な取組について具体的に論じなさい。</p>
令和 元 年度 (特別 募集)	<p>今般、本県では、ICT（情報通信技術）の利活用により、地域が抱える課題の解決や生活の様々な場面における利便性の向上を図るため、「岩手県 ICT 利活用推進計画」を策定しました。</p> <p>そこで、地域が抱える課題解決や、県民一人ひとりの暮らし、仕事、学びの場における利便性の向上を図るために必要と考える、ICT を積極的に利活用した取組を 1 つ挙げ、その取組によってもたらされる効果（メリット）について、あなたが受験する専門分野の視点から論じなさい。</p> <p><b>【ICT】</b>          (Information and Communication Technology) 情報や通信に関する技術の総称。IT に代わる表現として広く用いられている。</p>